

サヌカイト採取報告

5月24日(日)、昨年までと違い、好天の中、坂出市の金山まで石包丁素材のサヌカイト採取に行ってきました。参加者は内田智子、香山誠、瀧川剛、田中良枝、室井康宏、小沢の6人、現地案内は森、瀧下の両氏にお願いしました。

坂出市役所で綾市長へ挨拶後、市長の推薦もあり金山東麓の香川県資源研究所という所へ伺いオーナーの前田さんにお会いしました。同研究所はサヌカイトの研究、サヌカイト製の楽器の製作普及をされているとのことで色々なめづらしいサヌカイト製の楽器を拝見させていただいたり触らせていただきました。香山さんが熱心に演奏してくれました。うわさには聞いていましたが非常に澄んだ音色を聴かせてくれました。一般には打楽器に使用されているようですが笛などの吹く楽器も製作されているようです。めづらしい形状の楽器も多数展示してあり様々な音色を楽しむことができました。

又、同所は金山の広範囲の所有者とのことで石包丁の素材は山の中で探すのは断っているのが構内に積んである石を持って行ってくれとのことでしたので構内にある大きな石の塊を多数もらってきました。ということで今年は汗をかくこともなくマムシに出くわすこともなく短時間で楽に採取できましたが小割に汗をかかねばならないかと思えます(小割しやすいような塊を選んだつもりですが)。6月14日の田植えの時に全部は出来ないにしても一部を小割してみようかと思えます。石包丁の製作は8月下旬に行うつもりです。

綾市長からは坂出市のパンフレットとマスコット人形のペンダント、資源研究所の前田さんからはサヌカイト材と瀬戸フィルハーモニー交響楽団の「SOUND OF SANUKITE VOL3」のCDと「石の音、母の声」なる著作を参加者各自にいただきました。御礼申し上げます。

今年は楽器の見学とそれに触るのに気をとられ写真を撮るのを失念しました。文章だけの報告になり申し訳ありません。

平成27年5月24日 小沢記